

6. 7城下町にはさまざまな敵の侵入を困難にする防御施設が設けられていた。そのさいたるものが道路であった。松本城下にも侵入した敵を一気に城郭に至らないように道路の付けかたを工夫してある。いわゆる前方遮断である。次の絵図の中のA～Dの道路の付けかたを何と呼ぶか、あてはまる番号を入れなさい。

A ()

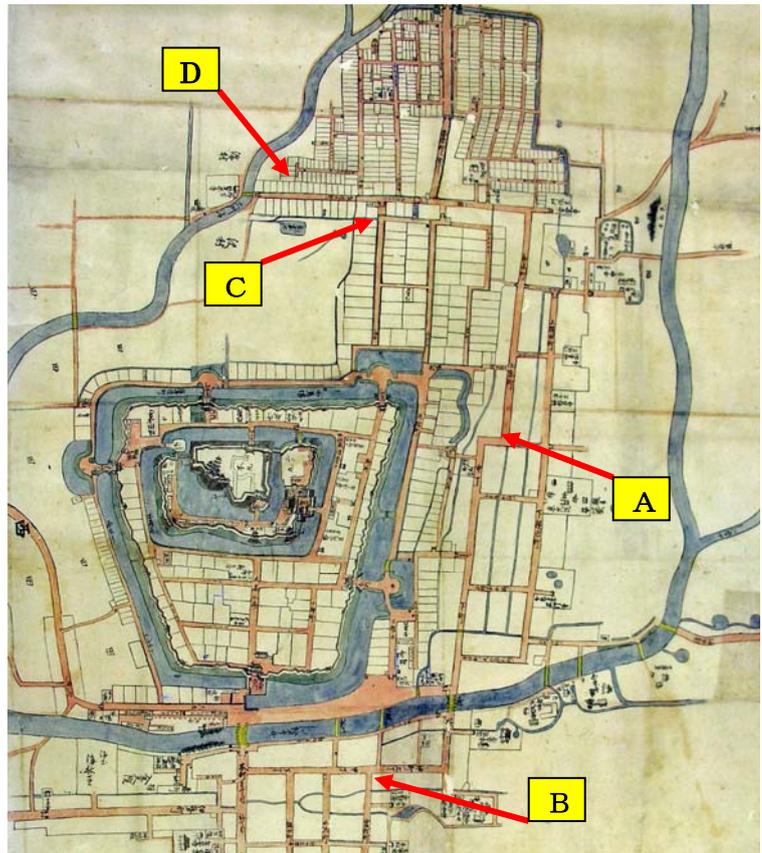
B ()

C ()

D ()

- 1 丁字路 (ていじろ)
- 2 鉤の手 (かぎのて)
- 3 袋小路 (ふくろこうじ)
- 4 喰違 (くいちがい)
- 5 鍵曲り (かぎまがり)

※ この採点は、一つ5点です。



8. 城主の城下町建設にあたって、寺社は城下の周辺に集中した。次の図をみてもわかるように、町人地を取り囲むような形で配置してある。宗教勢力の統制と城下防衛の役割と機能をもっていた。寺社地がこのような形で配置されることを何と呼ぶのか、次の中から一つ選びなさい。



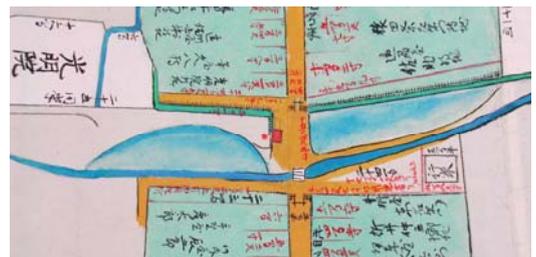
- ① 寺社囲い
- ② 町人地囲い
- ③ 城下囲い
- ④ 武家地囲い

9. 城下町の防犯や治安維持のために、武家地と町人地の境、町と町の接点、在方と町方等の区分をして、外敵侵入の警備にあたった。それに隣接して人が詰める口口があった。さてこの施設を何と呼ぶか、次の中から一つ選びなさい。

松本市史より

- ① 番所
- ② 木戸
- ③ 十王堂
- ④ 高札

10. 右の絵図は天保6年(1835)のものである。このあたりを見ると川や堀、木柵(さく)、土手、番所、木戸、狭い橋、広くない道幅などが集結していて、さながら城下に入る関所のようなものである。現在この場所はどこの場所にあたるか、次の中から選びなさい。



- ① 大橋付近
- ② 緑橋付近
- ③ 千歳橋付近
- ④ 安原口付近

氏名		採点	
----	--	----	--